

Q1 勤務先の業種について

総合建設業	20
その他	16
空調・衛生設備工事業	15
建築設計事務所	8
設備設計事務所	6
メーカー	5
電気設備工事業	2
不動産・ビル管理業	1
官公庁	1
公益事業	0

その他の回答
サービス、ソフト開発、ソフトウェア、ITサービス、学生、ESCO等

Q2 専門分野について

空調・衛生	60
その他1	11
電気	5

その他の回答
化学、ソフト開発、ソフトウェア、コンピュータ開発、企画等

Q3 業務分野について

設計	44
その他2	20
施工	8
管理	1

その他の回答
開発、製品販促、営業、システムエンジニア、技術開発、ソフトウェア等

Q4 年齢層について

29歳以下	25
30歳～39歳	15
40歳～49歳	20
50歳～59歳	5
60歳以上	4

Q5 受講したきっかけについて

上司のすすめ	34
メルマガまたはホームページ	26
その他3	7
会誌	4
社内回覧パンフ	2

その他の回答
設備フォーラム、教授のすすめ

Q6 今後の要望や感想

概要を理解できました。入力方法(ACSSとNewHASPの違い)について聞きたいです。	PCによる入力の実演(受講者も同時に入力)の時間を設けていただきたかった。
概要、操作の仕方から教えていただき、大変良かったです。入力データの作成についても非常に重要なところだと思いますので教えていただけたらもっと良かったと感じました。また、実際に自分で動かしてみたら、新たな疑問が生まれてくる気がします。	設計実務で使用する為の内容をもっと詳しくやっていただければと思いました。一から入力の仕方の説明や結果の見方など。
入出力に関する詳しい説明が聞きたかった。ACLDとACSSではアウトプットファイルの形式が異なるので、出力結果の見方や評価の仕方を詳しく聞きたい。NewHASP、ACSSの操作方法だけでなく、計算の原理的な部分と、それを担うシミュレーションの説明などが聞きたかった。	実際の例題を元にどのように使うのかを示して欲しかった。
入力ファイルの作成方法を示してほしい。気象データは全国のものを入れてほしい。	機能多彩でありながら、古いプログラムのため、社員への教育等時間がかかってしまう。簡易なユーザーインターフェイス等の敷居を低くする外部プログラムが必要と感じた。実績のある信頼性の高い計算ソフトが公開されたことは嬉しく思う。
講習会のレベルを分けて開催して欲しい。各入力項目の取り扱い方を知りたい。	気象データサンプルを10地点くらいにしてほしい。拡張メダスの空調設計用データもサンプルにいれてほしい。
HASPの基本的な入力は慣れるのが大変そうだと思います。データの活用はテキストデータなのでいろいろな活用と展開ができそう。	自分は空調が専門ですが、プログラム(MS-DOS)の知識は人並みなので、説明についていくのがやっとでした。専門用語も意味がわからない部分がありました。全体的な流れは理解することができました。技術的な設計業務を行っているので、この作業を業務でこなしていくのは大変であると感じました。
HASPの具体的な活用についてもう少し実演して欲しかったが、内容の説明はテキストの棒読みではなく大変理解しやすかった。	空調業界外のものですが、非常に勉強になりました。
ソフトの実演をもっと実施していただきたかったです。	実際に入力ができる講習内容だったらいいと思いました。
HASP公開の理念が大変すばらしいと思いました。これを機に、プログラムを勉強したいと思います。	データ入力支援のフリーソフトが望まれると思います。
続きの講習会をお願いします。	今後利用していく中で、とても参考になるお話を聞くことができよかったです。
HASPとは何かということで参加しました。もっと展開してみないと分からなかったかなと反省しました。	スムーズにバージョンアップしていく方法を確立してほしい。
日本はこういったソフトを公開するという懐の大きさがあるのですばらしいと思います。	実務の中で活用するのはインターフェイスが不可欠であると感じました。コマンドの持つ意味や入力すべき部分がどこかプログラムの内容を理解することができないことを考えると敷居が高いです。
自分でプログラムを直せばよいのですが、ACSSの方の出力もカンマ区切り形式などをオフィシャルで対応してもらえると助かります。	実際に実行する演習が少なく、もう少し多く時間があれば良いと思った。入出力データの設定方法が困難そうだと思うが、実物件で試用して実負荷とシミュレーション結果の整合性を見てみたい。
改変のルール決めは必要かと思いました。	入力データの作り方を詳細に説明して欲しい。
今後どれくらい活用されていくのか非常に楽しみです。自身は専門分野ではないので、プログラムの素晴らしさがまだ今ひとつ実感できないのですが、今回の参加を機にプログラムを楽しく学んでいきたいと思いました。この分野における業界の動向も今後気になります。	ACSSは複雑なので、改めて続編のセミナーをしていただきたい。サブコン勤務をしていた25年前にACLDを活用し、クリーンテクノロジーに医薬品工場の省エネについて、投稿した経験がありますが、HASP単独でも計算した結果と実測値の比較など実務で簡単に活用できるようになったのは好ましいことだと思います。
NewHASP、ACSSに関する計算実行の講習会を今後開いていただければ幸いです。エラーの修正方法がどうしてもわからなかった場合は、どちらへ伺えばよいのでしょうか。	HASPファミリーのうち、HASP/Lの機能は今回の公開ソフトにふくまれていますか。NewHASPの詳細出力の直前、直後のフラグの扱いについて。
理論等が分からない人をオペレーターとしてこのソフトを使用させたい。そういった人向けのレクチャーがあれば良いと思う。	

